

### <参加登録>

8月16日(水)までに、次の Google フォームから参加登録を完了してください。日本簿記学会の Web ページからのアクセスも可能となっております。

Google フォーム

- QR コード



- URL: <https://forms.gle/sdbjwtf5hk5WG22L8>

### <参加費・懇親会費のご案内>

大会参加費は、次の通りとなっております。

会員 ¥1,000

非会員 ¥3,000

参加費のお支払いは、受付にて現金払いでお願いいたします。領収証も併せてご用意いたします。また、当日は名札として利用できる名刺をお持ちくださいますようお願い申し上げます。

### <大学へのアクセス>



最寄り駅は、田園都市線 駒沢大学駅です。駒沢公園口出口から徒歩約10分かかります。

大会会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

大学までのアクセス及びキャンパスマップは、下記の URL からご参照いただけます。

<https://www.komazawa-u.ac.jp/facilities/campus/komazawa.html>

### <キャンパスマップ>



### <会場について>

本学は「eduroam」に参加しております。会場内では、ご所属の機関で発行されるアカウントとパスワードで、無線 LAN に接続できます。

全国大会開催中は夏休み期間であるため、駒澤大学北門からの入構はできません。正門をご利用ください。また、コンビニや学食も休業中であるため、昼食の用意は各自でお願いします。大学周辺にお弁当屋や飲食店はございます。

# 日本簿記学会 第39回全国大会

## 統一論題 「各研究領域から見た複式簿記」

2023年(令和5年)

8月26日(土)・27日(日)

駒澤大学駒沢キャンパス3号館2階

日本簿記学会第39回全国大会準備委員会  
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
駒澤大学経営学部 塚原慎研究室内  
jba39.komazawa.2023@gmail.com  
FAX 03-3418-9455(研究室)

ご挨拶

拝啓

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび駒澤大学におきまして、日本簿記学会第39回全国大会を開催することになりました。

今回の全国大会にあたり、記念講演として日本簿記学会前会長である佐藤信彦先生(熊本学園大学)には、「簿記研究及び簿記学会の役割と課題」と題するご講演をお引き受けいただきました。

また、統一論題を「各研究領域から見た複式簿記」とし、座長として清水泰洋先生(神戸大学)を迎え、税務会計・国際会計・非営利組織会計・管理会計を研究している4名の先生方から見た複式簿記についての報告をお願いしています。幅広い観点から見える複式簿記の特徴について、報告と討論を通じて理解を深め、会員の皆様にとって実り多い全国大会となることを願っております。

準備委員一同、本大会を通じて、簿記の理論・教育・実務の発展に貢献できれば幸甚に存じます。ご多用中とは存じますが、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

2023年7月吉日

日本簿記学会第39回全国大会準備委員会

委員長 桑原 正行

委員 河合由佳理

塚原 慎

柳 綾子

高橋 琢也

以下のプログラムは、日本税理士会連合会の会員研修・日本公認会計士協会 CPD 研修となっております。参加ご希望の方は、お申込みの際、該当箇所にチェックをお願いします。大会当日、受付で登録番号と氏名の署名をお願いします。

<日本税理士会連合会会員研修のご案内>

		履修時間
14:15-16:30	統一論題報告	2.0 時間
13:10-14:40	統一論題討論	1.5 時間

<日本公認会計士協会 CPD 研修のご案内>

		履修単位	研修コード
14:15-16:30	統一論題報告	2.0 単位	2001
13:10-14:40	統一論題討論	1.5 単位	2001

大会プログラム

8月26日(土)	
10:00-11:30	高校簿記教育懇談会 3号館 2階 206教場 テーマ「近年の日商簿記検定の現状について」 講演者 増子 敦仁 氏(東洋大学) 対談者(司会) 峯 正哉 氏(徳島県教育委員会)
11:30-	会員受付
12:00-12:50	会員総会 3号館 2階 207教場 開会によせて 日本簿記学会会長挨拶 泉 宏之 氏(横浜国立大学)
13:00-14:00	記念講演 3号館 2階 207教場 テーマ「簿記研究及び簿記学会の役割と課題」 講演者 佐藤 信彦 氏(熊本学園大学) 司会者 菱山 淳 氏(専修大学)
14:15-16:30	統一論題報告 (各報告30分) 3号館 2階 207教場 テーマ:「各研究領域から見た複式簿記」 解題 清水 泰洋 氏(神戸大学) 報告① 金子 善行 氏(帝京大学) 「無償取引と簿記上の取引」 報告② 河合 由佳理 氏(駒澤大学) 「国際会計から見た複式簿記」 (休憩 15分) 報告③ 兵頭 和花子 氏(兵庫県立大学) 「非営利組織の複式簿記」 報告④ 望月 信幸 氏(熊本県立大学) 「複式簿記による記録と管理会計情報」

8月27日(日)	
9:30-11:05	自由論題報告 (各報告25分、コメント・質疑応答5分)
第1会場:3号館2階 205教場	司会者:溝上 達也 氏(松山大学) 土井 貴之 氏(中村学園大学) 「明治期酒造業固有の帳簿を用いた物量記録による酒造経営と造石税の管理—灘酒造家の一次史料を用いて—」 川島 健司 氏(法政大学) 「「内部留保」という用語の使用法に関する研究」
第2会場:3号館2階 206教場	司会者:石原 裕也 氏(専修大学) 平野 智久 氏(北海道大学) 吉田 智也 氏(中央大学) 「簿記と会計との境界:連結財務諸表の作成は、簿記か会計か?」 櫻井 康弘 氏(中央大学) 「市販会計ソフトの商品売買取引処理の再考—その特徴と呼称—」  (5分休憩) 司会者:坂上 学 氏(法政大学) 板橋 雄大 氏(東京経済大学) 「ブロックチェーン型簿記会計システムにおける追跡可能性の活用と簿記記録形態の拡張」
11:50-12:50	研究部会報告 3号館2階 207教場 簿記理論研究部会: 「新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究」(部会長:吉田 智也 氏(中央大学)) 簿記教育研究部会: 「簿記のオンライン教育に関する研究」 (部会長:清水 泰洋 氏(神戸大学))
13:10-14:40	統一論題討論 3号館2階 207教場 座長 清水 泰洋 氏(神戸大学) 討論者 金子 善行 氏(帝京大学) 河合 由佳理 氏(駒澤大学) 兵頭 和花子 氏(兵庫県立大学) 望月 信幸 氏(熊本県立大学)
14:40-	閉会によせて 日本簿記学会会長 泉 宏之 氏(横浜国立大学)